



豊後大野市教育委員会

---

---

## 会議要録

議 題：第6回豊後大野市図書館及び資料館建設検討委員会

日 時：平成29年2月3日（金）17：58～19：58

場 所：豊後大野市中央公民館視聴覚室

欠席者：杉浦嘉雄委員

### 1、開 会 17：58～

### 2、協議事項 17：59～

●新豊後大野市図書館及び資料館基本構想について（図書館編）	
（1）前回までの協議について（確認）	
委員長	今まで議論したことをより具体化して一定の方向性を出して進めたい。前回は基本理念について議論したが抽象的なものだったので、今回は具体的な案を出す。事務局説明を。
事務局（小野）	（資料に基づいて説明）
委員長	質問あるか。
一同	なし
（2）コンセプト（基本方針など）について	
事務局（小野）	先生からいただいた取り組みに、これまで出た意見、職員目線として入れた方が良いことを追加しました。（資料に基づいて説明）
委員長	短いことばで示した。法令遵守で各法律、ユネスコ宣言は普遍的な原理原則を踏まえた上で、そうしたものを基本的にちりばめている。今までの意見を加味しながら具体的に示した。 後藤さんの「こども」は、子ども読書計画、ユネスコに盛られているが、あえてピックアップしていただいたものを反映している。 （9）は、学社統合は、将来的に全域サービスをという点と、今回の国の動きを考えてみたところ。 滋賀県の東近江市の五個荘小と五個荘中学校図書館が統合してサービスをしている。学校から言えば、市民が学校に入っているということがあるが、上手い具合に整理（分離）されていて、Win-Winの関係になっている。和歌山県の有田川町でも4月から取り組みをしよう。時代の流れで、一昨年、学校司書の配置が明記された。効率を考えれば学校と公共図書館が合体してそれぞれの資源を使う。

	<p>すぐに豊後大野市で喫緊の課題としてはないが、2018年問題、少子化、空き教室問題などで、将来的には出てくる話。</p> <p>香川県の男木島は、休校していた学校がIターン（が要因）で再開した。（Iターン者で）移住を決意した人の中に図書館と言うことばがある。住民がNPOをつくり、図書館をオープンさせた。海士町でも学校と公共図書館が一体となっている。いずれはここに行き着くであろうと敢えて追加した。</p> <p>従来型の図書館はレクリエーションを取り入れた図書館というイメージであったが、今は、コミュニティを形成したり、まちづくりに向かっている。近年、「図書館とまちづくり」に向かっている。以前よりも将来のことも含めてコンセプトに入れている。前回よりは文章化されたものが示せた。</p>
田原副委員長	<p>今の部分、非常にいい方向に進んでいる。学校（図書館）と（市の）図書館の統合（相互利用）、まちづくりの中心になると。先の話ではなく今すぐにも取り組める話ではないか。まちづくり、学校との連携が最後にあるが、もっと前面に出してもいいのではないか。</p>
上野委員	<p>学校として、（9）学校と図書館の学社統合は賛成である。しかし安全性の面で入口をひとつにするとかそのあたりを最大限に確保できれば素晴らしいことだと思う。</p>
委員長	<p>現在月曜日・火曜日は学校に、それ以外は公共図書館、土日は公共図書館のみと、時間差を設けている。学校と図書館の間にシャッターを設けて切り分けている。安全面に配慮はされている。新たに（図書館を）作るのではなく既存の施設に“治療”で加えていくという（考え）。事情により（工夫して）行う。</p> <p>学校と書いているけど、朝地小中学校の図書館は外を向いているので管理しやすい。安全面に配慮した方策は然るべき。唐突感があるので、少しずつ。スウェーデンでは（学社統合の形式の図書館は）1～2館から400館に増えた。問題は財政面。</p>
藤内委員	<p>かみ砕いてわかりやすく表現して、苦労されたと思う。生涯学習の言葉がないので。お墓のことまでわかる図書館なら、「生涯学習」のことばが入った方がいいと思う。</p>
事務局(小野)	わかりました。
委員長	（2）がまさしく生涯学習のことをさしている。
藤内委員	それはわかるけど、言葉が。
委員長	検討する。ほかにあるか。
吉岡委員	（9）の学社統合はよくわかるが、将来は、全て中学校の図書館が統合されてしまうと読める。本館があって、それ以外により地域に密着したものをつくる。これだと将来全て中学校図書館になってしまうと読み取れる。表現を工夫して。
委員長	地域によって（異なるところがあるが）、緒方は小中学校が離れている。清川は近い。中学校等とする。

吉岡委員長	将来、中学校区にある。中学校等にある。緒方は山の上にあるのであがって来られない。
委員長	学校等、学校区とかの表現がいいか、こちらで検討する。ほかには。
佐藤委員	(4) ワンストップサービスについて説明を。 (3) 「ボランティアとともに」について、現状(ボランティアが)いるのか。どのくらいあるのか。それより市民に浸透させる方策が必要と思う。
委員長	ワンストップは、集約的に窓口が1箇所、各公民館かどこかが集約的にコントロールするタワーがあって、「あ・うん」の呼吸でサービスができる。 ボランティアは、図書館友の会とかが生まれているが、絵本サークル、読み聞かせなど今後生まれてくる可能性あり。 伊万里市は、市民グループとともにつくった。図書館の裾野が広がって、まちづくりが広がって、(市民)共同参画、今(ボランティア)は無くてもそういうものを目指しこれから育てたい。
工藤委員	公民館図書室と、(9) 将来を見据えた図書館の“中学校”と、旧図書館2箇所に建設するという事か。
委員長	ワンストップであると、学校や地域で異なる。分館が6つあっても公民館図書室に配本もあるので、市民が目にしやすいところに本を持っていく。
工藤委員	(5) の① “保育園、幼稚園、小中学校の図書館と連携し、” には、「認定こども園」も入れてほしい。
委員長	了解した。島根県の海士町の話もあったと思うが、ワンストップについては今後起こり得る。
衛藤委員	基本方針、整合性もあった。 (2) の③ “豊後大野市や隣接自治体の郷土資料や行政資料などを積極的に収集し提供する” について説明を。 (9) “将来を見据えた図書館” は、果たして2行で足りるのか。だんだん中学校そのものが厳しくなってくるとき、2行では不十分かなと思う。
委員長	学校が地域のよりどころになる。学校が衰退している中で、図書館が中心になって町おこしをしている。2行で足りないかも知れないが今まで出された意見を取り入れた。この後に追加する事も可能。
●補足●	(9) とはコンセプトの中にある、基本方針(めざす姿)において <u>将来を見据えた図書館</u> 市内多くの地域で過疎化や少子高齢化による地域力の低下が懸念される中、将来中学校にある図書室が市民のよりどころとなる、学社統合型の図書館をめざします とある内容のこと。
後藤綾子委員	(9) が入っていて、混乱していると思う。(9) までを入れて、時系列でタスクリストにより、まず①基幹(となる)図書館、次に②本・資料を充実させる。とか、優先順位があるとわかりやすい。
委員長	次の具体的なところ(年次計画など)で盛り込んでいきたい。タスクリス

	トは。(9)は外すわけではなく、加えるという。
後藤綾子委員	まずは、基幹図書館が整えられてではないか。私は良いとは思いますが。その(9)今すぐのことなのか。将来のことなのか。
委員長	追加。まずは、コンセプトをしっかりと、枝葉を伸ばしていく。基本理念を固めてから。
吉岡委員	(9)に含めるべきか、「持続可能」ということ意味合いのこと。何十年も利用されることが大切。最後までいいので入れてほしい。「持続可能」にするために、学社統合という案が出ていると思うので。
委員長	地域に支えられ、地域を支える図書館という言葉も用意していた。それも持続可能。そのことも付け加えるということではよいか。
衛藤委員	P8の(3)②、「隣接自治体」とあるのは？
委員長	地域で知るものは集めなさい。当該自治体だけでなく、例えば旧岡藩エリアを調べるときには竹田市も必要になる。周辺が見えないとコアなものが見えてこない。「隣接」「関係」がいいのか、集めるということを示している。(資料の)集め方が、例えば豊肥地区がいいかなど、その辺りは具体的に今後検討する。ほかには。
事務局(真部課長)	先ほど後藤委員が質問された部分ですが、(9)を入れることで直ちにとりかからないといけないのではということになるのか心配されての御発言だったと思います。順番的には、例えばセンター的な基幹図書館、それから順次建設が一気に進むのでしょうか。(9)があることで、委員の意識が統一できてないのではないのでしょうか。その点を確認させてください。
委員長	(9)は、構想という考え。予算、タイムリーということで喫緊の課題としては中央館をつくり、周辺を固めていくという意味。一挙に全整備ではなく、年次計画を立てて、必要なものからという意味。 将来を予想するのは難しいが20年周期で図書館は変わっている。まちづくり、課題解決ということが出ている。不易流行、変えるもの、変えられないもの。今回の意見を踏まえたうえで。
事務局(小野)	P11の図は、今現在のサービス計画です。今後はそのサービス計画の中に(9)の中学校区を学社統合型の図書館に反映させる形を描くということではないでしょうか。
委員長	(反映させるということについて)そうである。中学校、福祉、公民館等との外との関係でもあるので、関係者との合意形成が必要となる。
工藤委員	公民館図書室がスタートで、専門職の司書がいる学校図書にシフトしていくということで良いか。緒方は不便だから、利便性を考えて地域で対応するということか。
委員長	公民館は、図書、情報、集会機能でスタートした。図書館がなかったの、公民館に図書室を置いた。公民館に必要なグループサークルのために、必要な本を整備していくという考えも、今後は必要である。法的に学校には司書が必置である。経費合理化のなかで、学校図書館の資料も一般利用開放の方

	向になりつつある。
委員長	コンセプトの方向性を理解、コンセプトが面積、場所に影響あるので、次に進みたい。
<b>(3) 規模・レイアウトについて (3案)</b>	
事務局(小野)	<p>P12の規模、レイアウトについて</p> <p>1) は、前回までの資料、あったらいいな！こんな図書館の意見、司書の意見等を聞きながら作成してきましたが、委員長と協議し、一旦削除しました。これについては委員長から説明があると思います。</p> <p>2) 規模や場所は、立地条件によって場所も決まってくると推測します。規模は、P13の5で何かの指針を基にということを示すため、図書館協会が示した基準でつくりました。下の表は、大分県立図書館建設の時の基準です。これを踏まえたうえで、面積は2,610㎡としました。</p>
委員長	<p>基本レイアウトについては前回説明したが、なぜ破棄したのかというのは、図書館はコンセプトが先で、部屋割りが後で決まってくるからだ。学校図書館との統合、支援が入ると面積が変わってくる。自分(委員長)が責任を持ってプランをつくりたい。</p> <p>図書館は将来を成長する有機体、20年、30年経っても機能不全に陥らないように出したい。新長崎県立図書館、豊橋市、玉名市、和歌山県的那智勝山、豊後大野市のオーダーメイド。</p> <p>前回、何故出さなかったかという、コンセプトがなくて出すのは早いと判断したから。</p> <p>場所は、将来を見据えたもので、スケジュール、予算、規模もある。現況を加味すれば、場所は勝手に申し上げると、あくまで私見であるが、本庁中心に中央館をつかって、フォローする形で分館を作るとするのがいい(のではないかと思う)。</p> <p>いくつかパターンは考えた。1館方式は、県庁所在地の和歌山市で経験し私も反省している。7,000㎡で広いが、30年たつがケアをしていない最低の利用状況、大きくしてもたどり着けない人がいる。システムとして図書館をつくる。機能させるような仕組みが必要。</p> <p>2案として、2館～3館体制として、諫早のイメージは、財政的に現実的でない。あとは、1館プラスフォローする体制で、現状よりケアのきいた機能を中学校に建てると、中央に保存機能をもつ、諫早のように、中央に古文書をいれる手立てを設計するとか、学校図書館を支援するためのコントロールタワー、学校図書室支援センターを図書館に入れると、交通関係、教育委員会に近いとか考えて、場所はこういうかたちで提案する。</p> <p>財政は、考慮しないといけない。地域性も考慮して、人口の集中度も勘案すれば、三重に中央館つくるのが現実的である。</p> <p>フォローする機能によって状況が変わってくるので、いつでもどこでも使える窓口としての機能も考えられる。</p>

	<p>2,600 m<sup>2</sup>は、たらみ図書館と同程度。広いといえば広いが、データからすれば妥当な広さである。駐車場は重要だが、工夫もある。例えば二層式もある。職員数は、これは目安であるが多くの自治体ではこれくらいの人数を揃えている。正員がどうかは別にして、必要な人員で妥当なところ。</p> <p>県の図書館をつくる際、実は私も関わった。下の表は、専門職員 14 人、年間購入冊数等の基準を入れている。延べ面積 800 m<sup>2</sup>は最低のライン。どんな町でも村でも 800 m<sup>2</sup>は必要というところ。</p> <p>今の三重町がこのくらいなので、この基準くらい。色んな機能をそぎ落とすと、26 万冊収容の図書館になる。目安としてはこんな形で進めて、規模・レイアウトを次回に提案したい。</p>
工藤委員	<p>新たに土地を購入するのは無理と思うので、図書館のみで 2,600 m<sup>2</sup>、加えて資料館、庭、駐車場となったときに、市が保有している土地で可能なところを示してほしい。</p>
事務局（真部課長）	<p>市有地でまとまった土地としては、大原の駐車場、解体予定の旧中央公民館の（予定）跡地となります。</p>
工藤委員	<p>何故聞いたかという、旧中央公民館の 1 箇所が（前述の規模を許容できる範囲として）良いと思われるが、だけではなく、他の物件も示してほしいから。1 箇所だと選択肢がない。示してほしい。</p>
事務局（真部課長）	<p>中央公民館跡は、（未計測ですがおおよそ）約 4,400 m<sup>2</sup>です。</p>
吉岡委員	<p>市有地で考えるという以外、選択肢はないのか。例えば可能かどうかは別にしてまちづくりを重視したときに、三重町駅前、マルミヤ周辺を購入して、まち全体を活性化するという考えはないか。1 箇所では選択肢が狭まる。</p>
委員長	<p>ここでは、機能重視。部屋構成などの必要面積、土地を我々検討委員会で意見具申はできると思う。</p>
事務局（真部課長）	<p>今回で（建設場所を 1 つに）固定するのは土地利用に関する規制などがあり難しいと思いますが、（皆さんの意見を聞いて具体的な話をして検討いたします。</p>
後藤綾子委員	<p>たらみが 4,000 m<sup>2</sup>、竹田市が 1,500 m<sup>2</sup>、イメージできるのではないかな。たらみは、開架より閉架の冊数が多かった。普通は閉架が大きいのか。</p>
委員長	<p>海南市は 15 万冊を開架である。閉架を作らないということらしいが。ただ使わなくなった本を奥にするというのが鉄則。（閉架を設置し最大限利用するためには）色々な手法がある。面積がこのくらいといっても、開架スペースの書棚が 105 cm、閉架書棚は 8m の高さでも設計段階でどうでもなる。2,600 m<sup>2</sup>でいけばたらみ程度は可能。</p>
後藤順子委員	<p>三重町から来ているけど、市全体を考えて、渡部委員長の提案で中央に決めて、工藤さんが言われたように、特徴があるところに連絡して、機器もあるので。</p> <p>三重がいいと思ったのは中央だからということではなく、高校が三重町に</p>

	あるからである。(歴史民俗資料館については) 小学 4 年生の郷土の歴史ということで、歴史民俗資料館、図書館を利用する。三重町内 5 校の子どもが図書館、資料館に行くときに、100 人を超えるわけで、子どもたちがコミュニティバスで行くのも厳しい。第一小学校、三重東小学校の子どもも歩いて行ける、閲覧室は中学生・高校生が使っている。基本理念を満たすのは三重町。まちづくりを考えると中央だけでなく、中学校につくるとかして、図書館利用者を増える方向にしていけたらと思う。
委員長	まちづくりの話があった。従来は、スーパーの近くとか市街地に立地とかがあった。逆もあるということが最近ある。図書館に人が集まって、そこにまちができたという例がある。市街地の地価の高いところに図書館単体で設置するのは難しい。岩手県紫波町は、図書館を中心に据えてまちづくりを展開した。今回はそうではない。中身で勝負する。しかし財政事情等もあるので、決まったらそこで良いものを目指す。
吉岡委員	ここで決めることでもないのが良いが。ひとつの案として、駅前の再開発で核になればすばらしい。JR での通勤・通学の途中に本を借りるとか、利用もあり得る。そういった案も選択肢の中に。
委員長	可能な限り利便性の高いところに場所を決めるということで、意見の中で決まってくると思う。大きくは三重町でよいか。同意いただけるか。
全員	(承諾)
衛藤委員	図書館、資料館を考えると、市民が利用しやすいところ。子どもたちが第一義、ただ大きくは大人たち。大人の利用が多くないので、時間、取組み、運動が必要となる。子どもが学びやすい図書館、学校に近いところ、市役所に近いところ、あるいは駅周辺、限られてくると思う。
委員長	森山図書館は、家が一軒もないところに人が住んできた。今までは、児童に目を向けて大人と勝負してこなかった。きっちりしてきくと逆転していく(大人>子どもの利用)。中身の問題で、選書、資料をどうするか。くつろぎ、情報格差がないという。次の回には平面にしてラフスケッチにして僭越ながら提示したい。
藤内委員	高齢者の利用も多い。65 歳以上の方の一旦停止とか、法律が変わるので、コミュニティバスとか、公共交通機関使う方が増える。コミュニティバスが停まれるような交通アクセスのいいところを選んでほしい。子どもも大人も 5 冊から 10 冊と借りられるような場所。
委員長	我々の権限を越えるようなところは意見として明記して計画に盛り込みたい。田原市、愛知。デイサービスの一環として回ることも必要か。福祉とリンク。今後ソフトの中においてどういう話になるのか、立地、理念を具現化して末端のところはどうするかが課題。
後藤綾子委員	現在図書館職員は何人か。
事務局(太田係長)	パート含めて 10 人。館長は、兼務である。



上野委員	<p>将来を見据えて、機能不全にならないような話があったが、財政的な面が一番気になる。中身は良いものができるはずであるが。身の丈に合ったものを。これをつくることで財政が逼迫したのでは困る。予算の中で効率的なものを目指したい。</p>
衛藤委員	<p>平成 27 年度決算の状況とかに目を通してきた。これから厳しい状況になっていく。この 5 年間で地方交付税が 10 億円の減、これから 5 年間で更に落ち込む。そういう意味で責任以て検討する必要がある。(図書館だけでなく)資料館も含めて(規模や場所を)議論しないと、配慮や注意が足りないものになるのではないか。</p> <p>経常収支は確かに国内でも県下でもいいが、80%が依存財源となっている。これからまた大きく落ち込む可能性がある。財政的な規模も含めて検討すべきである。効率的な図書館、資料館に向けた議論を「安くていい施設ができるなあ」ということにしてもらいたい。半年で急に話が展開しているので、市の財政状況、必要性含めて議論が必要。今回は、こんな図書館があったらいいなというところの議論。財政負担が伴うので、市民と一緒に考えていくという考え方が必要。</p>
委員長	<p>この場(委員会)では利用される図書館をどう目指すかという議論。あとの財政等については市行政や議会で判断していただく。15 億円を 9,000 人の人口のまちでつくったが利用されているからいい。利用されれば市民からも評価される。つくる以上は、利用されるものをどう希求するかが重要。(衛藤さんの見解は)この場ではご容赦いただきたい。</p> <p>広げた風呂敷が小さくなることもある。(先ほど示した資料は)全国平均で出した面積で、その中で議論している。ただもちろん財布事情、財政事情も気になり、利用されるものがある程度どれだけでどのようにペイするかなどあるが、この場では(中身について)議論していきたいと思う。(建設の過程で)どこもコンサルに丸投げしてそのまま進むケースがある。それに比べ豊後大野市は、回数については重ねている方だ。和歌山市民図書館も関わっているがそこよりは多いと思っている。</p>
衛藤委員	<p>資料館の議論がされていないので、規模、位置も並行して議論しないと判断できない。</p>
委員長	<p>図書館が終わったら、資料館。同時進行は難しいので。基本的なコンセプトを了解したと判断できたら、資料館の議論に移るということで良いか。</p>
衛藤委員	<p>(了承)</p>
渡辺委員	<p>いい議論と思う。規模は 2,600 m<sup>2</sup>、全国的な平均であれば、理解が得られやすい。全体の議論で、現状の図書館がいい。豊後大野市は 7 万冊の蔵書で 10 万冊を貸し出している。委員長、全国的に見ても良い方なのではないか。</p>
委員長	<p>7 万冊で 3,000 人の人口の舟橋村図書館は、16 万冊を貸している。三重町の水準では、全国水準。市内の各町で均衡がとれないと、大きなものをつくらただけでは難しい。一箇所に集まるのは難しい。和歌山市には 7,000 m<sup>2</sup>の</p>

	大きな図書館があるが、1人当たりの貸出は最下位。一か所に集まらないことを証明している。三重以外で水準をあげるには工夫が必要で、市民に全国平均のサービスが展開できるかを考えなければならない。
渡辺委員	現状、使い勝手がいい。利用者も喜んで利用している。不満はあまり聞かない。現状はそれなりに利用されている。狭いとか課題は出ているが、喜んで使っている。今の図書館が問題あるわけではない。その点は理解して進めてほしい。
委員長	よりよくすることと全域的な視野が必要。老朽化等もあるが、新館を次の世代に引き継ぐということ踏まえ、もちろん良いところもあるが、新たに展開することを考えている。
吉岡委員	財政の話が出た。箱物をつくるということだけが重視されているが、本の収集や、(嘱託)職員、正職員も充実させサービスの提供が続けられるよう、市も努力してほしい。
教育長	熱心な御議論感謝申し上げます。財政の心配をされていらっしゃる方もおられますが、そのとおりの面もあります。ただこの何年間、行財政改革で基金もできました。図書館、資料館は、まちづくりにとって重要で必要だと。子ども市議会でも小学6年生からの提案もあり、まちづくり委員会でも出だし、また(資料館については)要望書も出ております。図書館、資料館は必要なんだということで、必要なお金は出すよう努力します。(新図書館等)をつかってまちづくりの拠点にするという考えで進めたいと我々は考えておりますので御理解のほどよろしく申し上げます。
衛藤委員	今市の考えが示されたが、私は(図書館などが)必要ないとは思わない。今の時代にあったものが必要。ただ気になっているのは市民の皆さんと一緒につくるという気運がない。せめて利用者のアンケートをとっていかとか。我々の委員だけじゃなく。図書館等が市民のためになるということがわかれば市民も何とか辛抱して頑張っていこうと理解が得られる。100億円に基金とかあるがこれから使っていくわけである。公共施設をつかっていく中で、市民のためになる図書館、資料館になれば、市民と一緒につくっていくというアンケートくらい、行政がなんでとらんもんかなあ、不思議でしょうがないという気持ち。
教育長	市民の声を聞くことは大切なことです。最初市民に公募して「あったらいいな!こんな図書館」の取組みを渡部先生の力も借りながら行ってきました。今回(ほんも市民の代表としてきていただいて、議論していただいています。決して(行政)独自に進めるという気はありません。委員の意見を尊重して、利用しやすい図書館を作ることで市民に喜んでもらえることを目指しています。
委員長	経験を述べる。長崎の扇山の図書館は、市長のトップダウンで、アンケートを実施しなかった。一方滋賀はアンケートを取った。両方経験した。(扇山は)つくる前は批判があった。滋賀では、市民からつくってほしいとなった。

	<p>扇山は、こうしたら利用できるということを考えてところ（完成後）子どもたちが積極的に図書館を利用した。“図書館のまち”と言われるまでなった。今、アンケートが難しいとなれば、みんなが納得できるものをつくれれば利用される。ただ臨界点がある。準備する方は厳しいかもしれないが。用意するもの（図書館など）が利用されるという自信がなければ止めた方がいい。そうならないためにも利用されるものを希求しなければならない。かといって市民の要望も聞いて、羅列的にやっても利用されないかもしれない。今の時間の中でどうするか。つくるということで進んでいるので、人が溢れる様な市民サービスに徹底した図書館をつくれれば市民は納得する。</p>
衛藤委員	<p>たらみ図書館は計画から7年間、最後は市民運動になった（と聞いた）。たらみ図書館長曰く「最低3年かけて計画してつくるといい」と聞いた。良い図書館作るといいとアドバイス、準備、そういった取組み。急ぎすぎかなといった気がしてならない。</p>
事務局（真部課長）	<p>基本的には現在建設するといった部分での検討をいただいています。この委員会で決まったことについては公表（パブリックコメント）を進める予定です。（市民が）何もわからない状態で進めたくはないところです。そしてまた基本構想が完成すれば、市民に知らせたいと思っています。（今後進んで）基本設計とかになれば、都度（みなさんに）公表してご意見をいただきたいと思っています。</p>
教育長	<p>（真部課長の説明に加えて）合併特例債の期限があることもご理解頂きたいと思っています。</p>
後藤順子委員	<p>最初に来たときは各町につくるかと思ったが、中心（中央）につくるということで納得した。これだけ話したので、中央と6町との交流、中学校司書と一緒に。他の町も三重にできる図書館を利用する体制にと話し合った、その方向でよい。</p>
委員長	<p>衛藤委員の心配もごもっともである。日本での公共施設の建て方はそのパターンが多い。たらみもだが、地域型博物館の典型と言われている平塚博物館は8年かかった。準備期間は長ければいいというのではない。短ければそれなりの努力を。地区に出かけて区長に説明した。滋賀では70団体にヒアリングもした。期間が短いほど、説明を十分にすることがある。事務局は大変だと思う。構想をきっちり説明できるよう求められる。それ抜きに工事しても利用されない。そこに行って説明すれば賛同してくれる。例えば棟上げ式をやったり、途中見学会、工事のフェンスに子どもたちの絵を貼るなど。これまでの施設以上に広報、啓発活動をすることが大切。委員が心配されているので。市の幹部の御理解をいただきたい。作る以上はそういう覚悟で。</p>
後藤綾子委員	<p>市民は、関心がなさ過ぎて、アンケートに答えてくれない。答申が出てからでもいいので、枠をつくってからでもケーブルテレビに出て周知するのも効果的ではないか。</p>
委員長	<p>他にないか。次回、資料館の話をする。歴史民俗資料館は私が立ち上げた</p>

	<p>ので苦労は身に染みている。住民が納得するような青写真をどんどん出していくしかない。御理解いただける方は良いか、頂けない方もいる。その方に理解いただけるようにするのを止めてはいけない。丹念に説明して、誠意をもってやる必要がある。滋賀での経験で、根強く反対された。ところが開館したら地区の人たちに勧めて回った。結果を見せなければいけない。「今のまま（の図書館）でいい」という人がいる以上、今以上のものをつくりつつ、ビジョンを見せて、皆さんに納得いただくものを見せていく。個々の基準をクリアしつつ前を向いて歩くしかない。いかがか。</p>
渡辺委員	経緯のところに「今以上」と入れてほしい。みなさんが理解しやすい。
委員長	了解した。では今日はこれで終わりとしたい。
<b>3、閉会 19:57～</b>	
田部副委員長	より具体的な構想になりつつある。3月の第8回で答申を出すと決まっているようである。もう次回には終わるくらいの覚悟で臨みたい。次回は最終案に近いものを期待したい。
<b>終了 ～19:58</b>	

※一部内容が変更されました。

記録者：小野